

第12期第1回 柏市自転車等駐車対策協議会会議録

1 開催日時

令和4年2月8日（火）10時00分～正午

2 開催場所

WEB会議

3 出席者

(1) 委員

大沢会長，寺嶋副会長，大根田委員，沖田委員，大田原委員，石井委員，岩崎委員，深澤委員

(2) 柏市

柏市土木部長 星，交通施設課長 増淵，交通施設課 田村，吉場，鈴木，中村，交通政策課 藤田

4 報告事項

(1) 駐輪場管理運営事業者の更新（つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅及び柏たなか駅各駐輪場）

(2) 令和4年度以降の工事予定

(3) 駐輪場定期利用者の推移

(4) 駐輪場一時利用者の推移

(5) 放置自転車等撤去台数・回数推移

(6) 今後の課題

5 議事録（概要案）

(1) 報告事項(1)について

質疑なし

(2) 報告事項(2)について

（大沢会長）

柏駅西口第六・第八駐輪場を再開発事業の進捗状況によっては閉鎖することだが，一度に全面閉鎖するのか，それとも一部ずつ閉鎖するのか伺いたい。また，その間利用者に対し代替の駐輪場を用意する予定はあるのか。

（事務局：吉場）

柏駅西口第6・第8駐輪場について全面閉鎖を行うにあたり，利用者に対し，柏駅西口第一駐輪場の南北に1つつ駐輪場を用意

する予定である。この駐輪場は令和3年度に柏駅西口第一駐輪場の工事を各階ごとに行った際、代替駐輪場として利用した駐輪場を引き続き利用するものである。

(大沢会長)

当該駐輪場は柏駅西口第6・第8駐輪場から距離があるので、早めに利用者の方には周知をお願いしたい。

(事務局：吉場)

承知した。

(3) 報告事項(3)(4)について

(大沢会長)

新型コロナウイルスまん延前に比べ定期・一時利用者共に減少しているが、市としてこの状況は社会情勢なので仕方ないと見ているのか、それとも元に戻していくつもりなのか。

(事務局：交通施設課長 増淵)

社会情勢及びライフスタイルが変化していることから、減少しているのは仕方のない部分もある。しかし、市として行っている駅前の人を呼び込む取組みとタイアップしていくことで、利用者の確保に繋がると考えているところである。それにあたって、駐輪場の適正配置等についても検討していく必要がある。

(大沢会長)

駅前に人が集まらなくなると都市空間としては寂しい部分もあるので、商店会等とも協力して自転車利用を促して行ってほしい。

(深澤委員)

駅前の駐輪場を利用して駐輪場に行くまでの道が狭く危ない。また駐輪場のラックが2段式のものは、子供や女性の力では利用しづらい。平置きの場合においても、自転車と自転車の間隔が狭く出し入れしづらい。結局徒歩で駅まで行かざるを得ないのが現状となっている。どうにかならないか。

(事務局：交通施設課長 増淵)

自転車用の道に関しては、現在水色の矢羽根の設置を進めている。駐輪場周辺についても設置することで自転車の走行空間を確保していきたい。

駐輪スペースについては、駅前は地価が高いこともあり駐輪場が

狭く、2段ラックの導入や詰めて整列させることで収容台数を確保しているのが現状である。駐輪場の経営等も考えながら利用者のニーズに合った整備を進めていきたい。

(大沢会長)

新型コロナウイルスによってライフスタイルが変化し、利用者が減少したことはマイナスであるが、量を確保する方針から質を確保する方針に変わる転機としてプラスに考えていけるかもしれない。

(寺嶋副会長)

質の確保に関連して、最近電動アシスト自転車等の駐輪にはスペースの確保が必要になってくると思われる。それらについても配慮して計画を進めていただきたい。

(事務局：交通施設課長 増渕)

電動アシスト自転車や子供を乗せる自転車等の駐輪には、一台当たりの駐輪スペースを広げる、専用のスペースを作る等の政策は必要だと考えている。

また現在自転車と原付が駐輪場の主なユーザーとなっており、新しく原付扱いのキックボードも導入されていることから、それに対応する駐輪形態についても考えているところである。

(4) 報告事項(5)について

(大沢会長)

現在撤去した放置車両を引き渡す際、徴収する保管料はいくらか。また近隣の自治体はどれほどの料金なのか伺いたい。

(事務局：鈴木)

配付した駐輪場マップの『保管所』の記載にもある通り、撤去又は移送した自転車及び原付は3,140円、自動二輪については5,220円を保管料として徴収している。

(事務局：吉場)

近隣の自治体の料金は、

松戸市 … 自転車 3,000円、原付 6,000円

我孫子市 … 自転車 2,000円、原付 4,000円

流山市 … 自転車 1,000円

となっている。

(大沢会長)

各自治体と料金を揃える必要はないが、放置自転車の台数の推移等に基づいて効果的な料金設定を行ってほしい。

(岩崎委員)

撤去した自転車等を取りに来ない人もいるかと思うが、その場合はずっと置いておくのか、それとも市で処分しているのか伺いたい。

(事務局：交通施設課長 増渕)

当課では放置自転車等を撤去した後告示をし、持ち主に対して連絡を行っている。それでも引き取りに来ない場合は、告示から半年過ぎた時点で自動的に市の財産となる。その後売却をし、得た代金は市の収入となっている。

(5) 報告事項(6)について

(大沢会長)

委員側の意見にもあった通り、走行空間や駐輪場内の質の確保も今後の課題に加えていただきたい。

(深澤委員)

駐輪場を閉鎖する際の利用者への周知が遅い、わかりにくいので改善してほしい。

走行空間については矢羽根が設置してあっても車両等が停まっていたら意味がなくなってしまうので対策を検討してほしい。

(事務局：吉場)

周知に関して、柏駅前の管理運営は指定管理者に任せているところであるが、工事は市が行うので連携をとって対応していく。

指定管理者については他の自治体においても駐輪場を運営しているので、そのノウハウを活かして管理運営をしてもらう。

(大沢会長)

走行空間に関してはどこの部署で担当しているのか。

(事務局：土木部長 星)

どちらも土木部で、自転車を停める方は交通施設課、走る方が交通政策課となっている。走行空間に関しても問題意識を持って検討しているところである。特に駅前のスペースが狭いことを問題視しており、西口の開発と合わせて取り組んでいけるよう考えて

いる。

(沖田委員)

(3)・(4)の報告事項で利用者の増減推移は見て取れるが、キャパに対してどれほどなのかも示すと需要と供給の変化が見極められるのではないか。

(事務局：交通施設課長 増淵)

現在データとしては、民間との兼ね合いもありまとめるに至っていない。ただ柏駅については、駅から近い駐輪場は満車となっており、駅から遠い駐輪場は空きがある状態であり、その他駅の駐輪場についても、とめられずあふれる様な状態とはなっていないので需要の方が多くはなっていない。今後の需要に応じて駐輪場の個数の増減についても考えていく。また質を上げることに関しては料金設定も絡んでいるため、慎重に検討していきたい。そのため指摘の通り、需要とキャパに関してもっとしっかり見ていく必要があると感じている。

6 傍聴

(1) 傍聴者

なし（まん延防止によるWEB会議のため）

(2) 傍聴の状況

なし